

養父市記者発表資料（発表・資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
5月8日（水）	健康福祉部社会的処方推進課	079-662-6141	課長 余根田一明

（一財）医療文化経済グローバル研究所 第2回市民講座「<sup>よう</sup>養」を開催します

今年1月に設立した標記研究所による市民講座を下記のとおり開催します。  
今回の市民講座では、医療、経済部門の役員が講話します。

記

- 1 日 時 令和6年5月25日（土） 午後1時30分～午後3時30分
- 2 会 場 関宮ふれあいの郷 2階集会室（養父市関宮193）
- 3 内 容
  - ・挨拶とメッセージ（薬の上手な飲み方）・・・代表理事兼研究所所長 中尾一和
  - ・講話「認知症にどう立ち向かうか」  
西村 正樹（当研究所理事）公立八鹿病院院長、滋賀医科大学神経難病研究センター  
客員教授
  - ・アトラクション  
フォークソングデュオ吉田村（地域密着ミュージシャン）
  - ・講話「社会経済から見た健康加齢」  
光多 長温（当研究所理事）公益財団法人都市化研究公室理事長
- 4 参加費 無料（※要事前申し込み）
- 5 申込方法  
チラシに記載の申込フォームから、または申込用紙を社会的処方推進課、地域局に持参するか、医療文化経済グローバル研究所事務所（FAX:079-660-1375）にFAXする。
- 6 （一財）医療文化経済グローバル研究所について  
医療、文化・芸術、経済分野の連携により、健康加齢を促進し、市民の幸福度の向上に向けた調査・研究・提言・支援等の取り組みを行い、市民が幸福に暮らしていける持続可能な地域共生社会の創造に寄与することを目的に、今年1月に市が設立しました。
- 7 市民講座について  
研究所の役員と市民の皆さんとが直接、交流できる機会をつくることを目的に、「健康」や「幸福」に関する市民講座「養（よう）」を市内各地で定期的で開催していきます。  
今年3月に開催した法人設立記念講演会が第1回です。次回は7月に開催予定です。

みんなで楽しく健康を考える！

参加費無料

第2回

一般財団法人

医療文化経済グローバル研究所

# 市民講座「養(よう)」



2024年

医療・健康 × 文化・芸術 × 経済・社会

5/25 (土)

場所

関宮ふれあいの郷 2F 集会室

養父市関宮 193

13:30-15:30

- 挨拶とメッセージ (薬の上手な飲み方)・・・代表理事兼研究所所長 中尾一和
- 「認知症にどう立ち向かうか」
- 「社会経済から見た健康加齢」



西村 正樹 (当研究所理事)

公立八鹿病院院長  
滋賀医科大学神経難病研究センター客員教授



光多 長温 (当研究所理事)

公益財団法人  
都市化研究公室理事長

Guest

フォークソングデュオ



● 吉田村



福祉・医療関係の仕事をする傍ら、フォークギターを片手にふるさとを音楽で盛り上げるため、地域密着ミュージシャンとして活動を展開。

- ・オリジナルソング『やぶからぼうたいそう』(養父市健康体操ソング)
- ・『森の妖精やっぷー』(やっぷーのイメージソング)、
- ・『Yタウンにいこう!』(商業施設YタウンのCMソング)



エンターテイメント

予告

第3回  
市民講座「養」

【日時】7月20日(土)  
13:30~

【場所】おおやホール

【講師】古賀 弥生氏  
芸術文化観光専門職大学芸術文化  
観光学部長教授

【講師】近藤 尚己 (当研究所理事)  
京都大学大学院医学研究科  
社会健康医学系専攻社会疫学分野主任教授

お申込み  
はこちら

お申し込み方法

定員 100人 ※申込必要

- 1 申込みフォームから ▶ 右QRコードを読み取りお送り下さい
- 2 FAX から ▶ 下記に必要事項をご記入の上お送りください
- 3 市役所地域局又は本庁社会的処方推進課窓口へ提出



申込みフォーム用

名前(代表者)	参加人数	人
住所		
連絡先	日中連絡のつきやすい番号をご記入ください	所属

主催 / お問い合わせ

一般財団法人  
医療文化経済グローバル研究所  
Global Institute of Medicine, Culture and Economy

〒667-0021 兵庫県養父市八鹿町八鹿 1685-2 やぶパートナーズ株式会社 2F  
TEL / 079-660-7478 FAX / 079-660-1375 mail / info@mce.or.jp  
※ お電話は繋がらない場合がございます。

協力：養父市

## 講話の内容と講師のご紹介

### 「認知症にどう立ち向かうか」

講話 1

認知症対策は社会的な課題です。最も多い原因であるアルツハイマー病に対しては、昨年ついに初の根本治療薬が処方できるようになりました。その一方で、発症を予防するための社会的取り組みも注目されています。この地域の認知症対策をどう進めるべきか。今回は、先端医療の実現と発症予防のための社会的介入の可能性についてお話しします。

#### 西村 正樹

講師

養父市八鹿町出身。八鹿高校から京都大学医学部へ。その後、東京都立神経病院、京都大学大学院、トロント大学留学を経て、滋賀医科大学助教授、2014年より教授。昨年4月より八鹿病院院長。日本神経学会及び日本認知症学会の専門医・指導医。日本認知症学会元理事。

### 「社会経済から見た健康加齢」

講話 2

全国の健康加齢に関する男女別・地域別の特徴、健康寿命と平均寿命の関係、更には、健康加齢を促進させるために経済、社会、医療、日常生活面でどのような点に留意することが望ましいかお話しします。また、養父市の健康加齢の特徴とあわせ、市民の皆様の健康加齢の増進のためには、地域コミュニティづくり、地域公共交通の整備、地域経済振興の重要性についてお話しします。

#### 光多 長温

講師

1967年東京大学経済学部卒業後、日本開発銀行（現、日本政策投資銀行）入行。名古屋支店長を経て、1995年富士通総研常務兼研究理事、鳥取大学地域学部教授を歴任。2015年より公益財団法人都市化研究室理事長。養父市市政15周年特別功労賞受賞。

## 法人のご案内

ホームページはこちら  
<https://mce.or.jp>



一般財団法人

医療文化経済グローバル研究所

Glocal Institute of Medicine, Culture and Economy

(一財)医療文化経済グローバル研究所は、医療、文化・芸術、経済分野の連携により、健康加齢を促進し、市民の幸福度の向上に向けた調査・研究・提言・支援等の取組を行い、市民が幸福に暮らしていける持続可能な地域共生社会の創造に寄与することを目的に市が設立した法人です。

当法人役員と市民の皆さんとが直接、交流できる機会をつくることを目的に、「健康」や「幸福」に関する市民講座「養(よう)」を市内各地で定期的に開催していきます。

#### 医療文化経済グローバル研究所 概念図

市民が幸福に暮らしていける持続可能な  
地域共生社会の創造に向けて

医療 文化 経済

医療、文化芸術、地域社会、地域経済の専門家の参画

調査・研究・  
提言・支援

養父市まちづくりのニューノーマルの創出

健康加齢 (ヘルシーエイジング) を促進し  
幸福 (ウェルビーイング) を享受

養父市 (地方) から  
全国・世界に発信